

令和6年度 近畿大学附属豊岡高等学校・中学校に対する学校自己評価 集計表

(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

ポイント=A×2+B×1-C×1-D×2

観点	項 目	学校自己評価					
		A	B	C	D	ポイントと平均	
教育方針	建学の精神が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。	9	28	1	1	43	41.3
	学校目標や教育方針に基づいた学校運営がなされている。	12	23	3	1	42	
	在校生、卒業生は学校に愛校心や誇りを持っている。	10	24	5	0	39	
教育課程	教育課程は学習指導要領に沿っている。	19	16	4	0	50	52.5
	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。	18	20	1	0	55	
教員連携	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	20	13	3	3	44	46.0
	教科、校務会議等が適宜開催され、意見交換が実施されている。	18	18	2	1	50	
	コース、学年制の健全な運営が行われている。	18	15	5	1	44	
情報公開	学校のホームページで可能な範囲の情報を公開している。	31	8	0	0	70	62.5
	成績等、生徒個人情報の取り扱いに関する注意がなされている。	20	17	2	0	55	
危機管理	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	15	16	6	2	36	36.0
	危機管理マニュアル、退避訓練など学校の安全対策は十分にとられている。	16	15	5	3	36	
学習指導	授業の開始、終了時間が厳守されている。	17	22	0	0	56	41.5
	生徒の実態に合わせた指導方法の工夫、改善が行われている。	13	21	4	1	41	
	各教科において基礎学力の定着のための工夫が行われている。	18	16	4	1	46	
	集中できる授業、わかりやすい授業が実施されている。	15	19	4	1	43	
	学力の具体的な到達目標を定めて授業が実施されている。	12	20	6	1	36	
	学力不振の生徒への学習指導が実施されている。	10	19	10	0	29	
	特別活動(HR活動・生徒会活動・学校行事等)の充実がはかられている。	15	21	3	0	48	
	授業時間の確保と学校行事の精選が行われている。	14	16	7	2	33	
生徒指導	生徒指導は学校の方針のもと組織的に行われている。	10	21	6	2	31	28.2
	基本的生活習慣の確立を目指す取り組みが行われている。	11	16	10	2	24	
	いろいろな機会を通して頭髪・服装指導等を含む基本的な生活習慣の指導に取り組んでいる。	5	18	10	6	6	
	不登校や問題生徒への学校としての十分な対応がされている。	10	26	2	1	42	
	生徒の豊かな心の育成に取り組んでいる。	10	24	4	1	38	
進路指導	生徒一人ひとりの興味・関心・適正に応じた進路選択ができる支援体制がある。	15	20	3	1	45	42.7
	近畿大学との連携強化に取り組んでいる。	15	19	4	1	43	
	進路実績の向上のために組織的に取り組んでいる。	14	19	5	1	40	
クラブ指導	クラブ指導は活発に行われ充実している。	18	17	3	1	48	44.0
	クラブ指導における安全性は保たれている。	15	18	4	2	40	
人権教育	人権尊重に関するさまざまな課題や指導法を教員が研究する体制がある。	8	18	10	3	18	19.5
	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育がおこなわれている。	8	19	10	2	21	
教員研修	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	6	17	13	3	10	16.0
	教員の資質向上を目指した研修の企画と運営が行われている。	6	22	10	1	22	
その他	生徒募集のための学校全体として協力体制が整っている。	7	26	4	2	32	26.7
	教職員および生徒の健康管理体制がある。	9	23	3	4	30	
	地域(住民)との相互理解と相互協力がはかられている。	6	20	12	1	18	

(4学校自己評価)